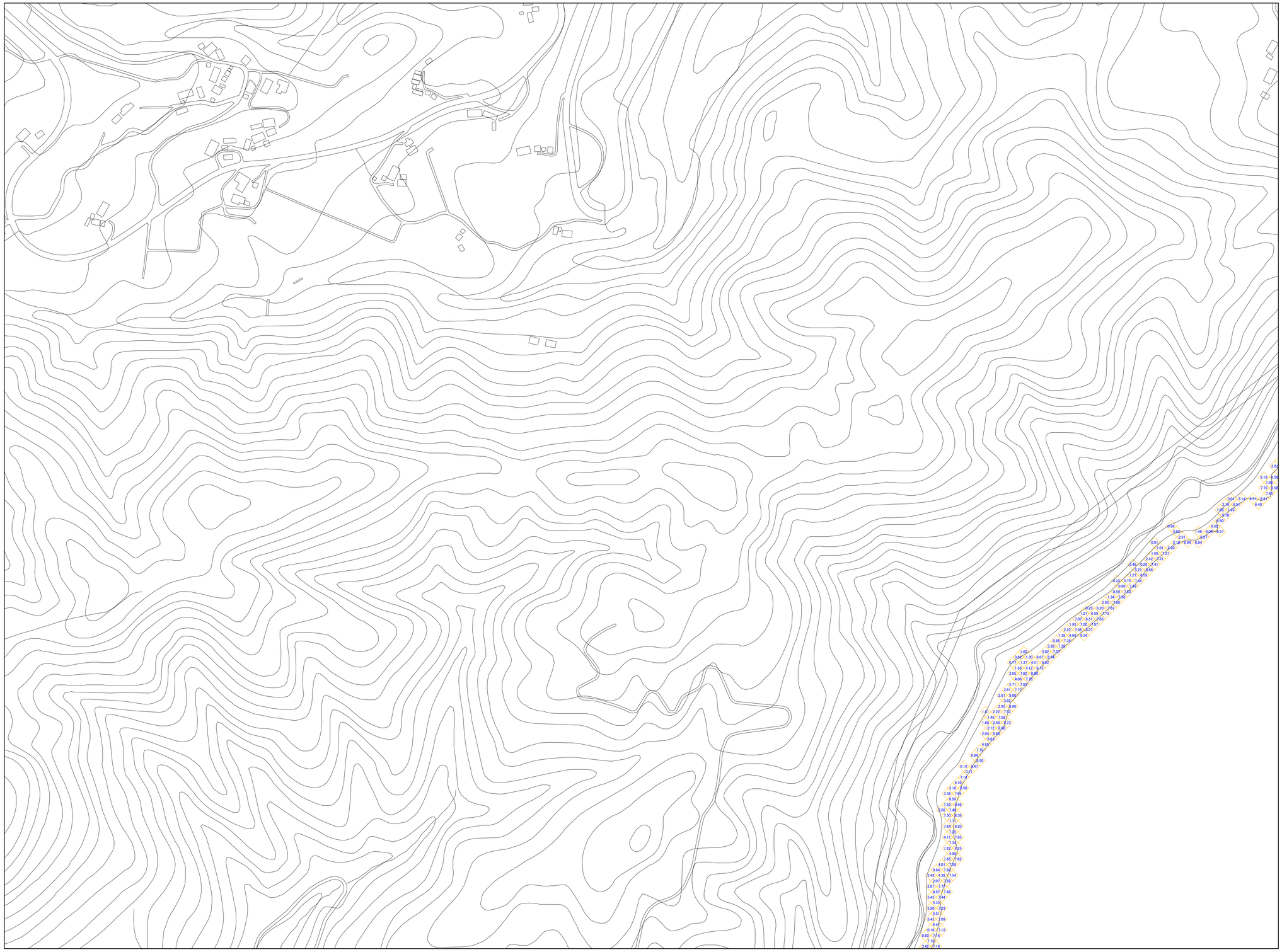
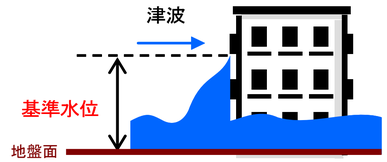
津波災害警戒区域の指定の公示に係る図書(津波災害警戒区域　区域図)　佐渡市-41



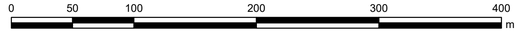
＜留意事項＞

【津波災害警戒区域】
〇「津波災害警戒区域」は、津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律第123号（以下、「法」という。））第53条第1項に基づく区域です。
〇「津波災害警戒区域」は、津波浸水想定（法第8条第1項）を踏まえ、津波による人的災害を防止するために警戒避難体制を特に整備すべき区域です。

【基準水位】
〇「基準水位」は、法第53条第2項に基づく水位で、津波の発生時における避難施設の避難上有効な高さ等の基準となるものです。
〇「基準水位」は、津波浸水想定に定める水深に係る水位に建築物への衝突による津波の水位の上昇を考慮して必要と認められる値を加えて定める水位であり、地盤面からの高さ（メートル単位）で表示しています。（下図参照）



【地形（標高）データ】
〇基準水位の算出に用いた「地形（標高）データ」は、平成20年から平成26年に実施された航空レーザー測量等の結果を基に作成しているため、その後の開発に伴う盛土や個別施設の微細な土地の形状が現況と異なっている場合があります。
【背景地図】
〇「背景地図」は最新のものを使用していますが、道路や建物などが現況と異なっている場合があります。



N	津波災害警戒区域（基準水位）	水位（単位:メートル）
縮尺 1:2,500	市町村名	佐渡市
	図面番号	41

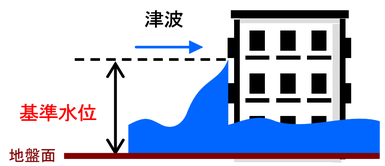
Copyright@NTT空間情報　All Rights Reserved

津波災害警戒区域の指定の公示に係る図書(津波災害警戒区域　区域図)　佐渡市-42

＜留意事項＞

【津波災害警戒区域】
〇「津波災害警戒区域」は、津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律第123号（以下、「法」という。））第53条第1項に基づく区域です。
〇「津波災害警戒区域」は、津波浸水想定（法第8条第1項）を踏まえ、津波による人的災害を防止するために警戒避難体制を特に整備すべき区域です。

【基準水位】
〇「基準水位」は、法第53条第2項に基づく水位で、津波の発生時における避難施設の避難上有効な高さ等の基準となるものです。
〇「基準水位」は、津波浸水想定に定める水深に係る水位に建築物への衝突による津波の水位の上昇を考慮して必要と認められる値を加えて定める水位であり、地盤面からの高さ（メートル単位）で表示しています。（下図参照）



【地形（標高）データ】
〇基準水位の算出に用いた「地形（標高）データ」は、平成20年から平成26年に実施された航空レーザー測量等の結果を基に作成しているため、その後の開発に伴う盛土や個別施設の微細な土地の形状が現況と異なっている場合があります。
【背景地図】
〇「背景地図」は最新のものを使用していますが、道路や建物などが現況と異なっている場合があります。

0　50　100　200　300　400 m

N	津波災害警戒区域（基準水位）	水位（単位:メートル）
縮尺 1:2,500	市町村名	佐渡市
	図面番号	42

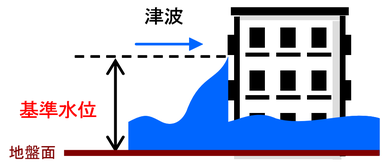
Copyright@NTT空間情報　All Rights Reserved

津波災害警戒区域の指定の公示に係る図書(津波災害警戒区域　区域図)　佐渡市-43

＜留意事項＞

【津波災害警戒区域】
〇「津波災害警戒区域」は、津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律第123号（以下、「法」という。））第53条第1項に基づく区域です。
〇「津波災害警戒区域」は、津波浸水想定（法第8条第1項）を踏まえ、津波による人的災害を防止するために警戒避難体制を特に整備すべき区域です。

【基準水位】
〇「基準水位」は、法第53条第2項に基づく水位で、津波の発生時における避難施設の避難上有効な高さ等の基準となるものです。
〇「基準水位」は、津波浸水想定に定める水深に係る水位に建築物への衝突による津波の水位の上昇を考慮して必要と認められる値を加えて定める水位であり、地盤面からの高さ（メートル単位）で表示しています。（下図参照）



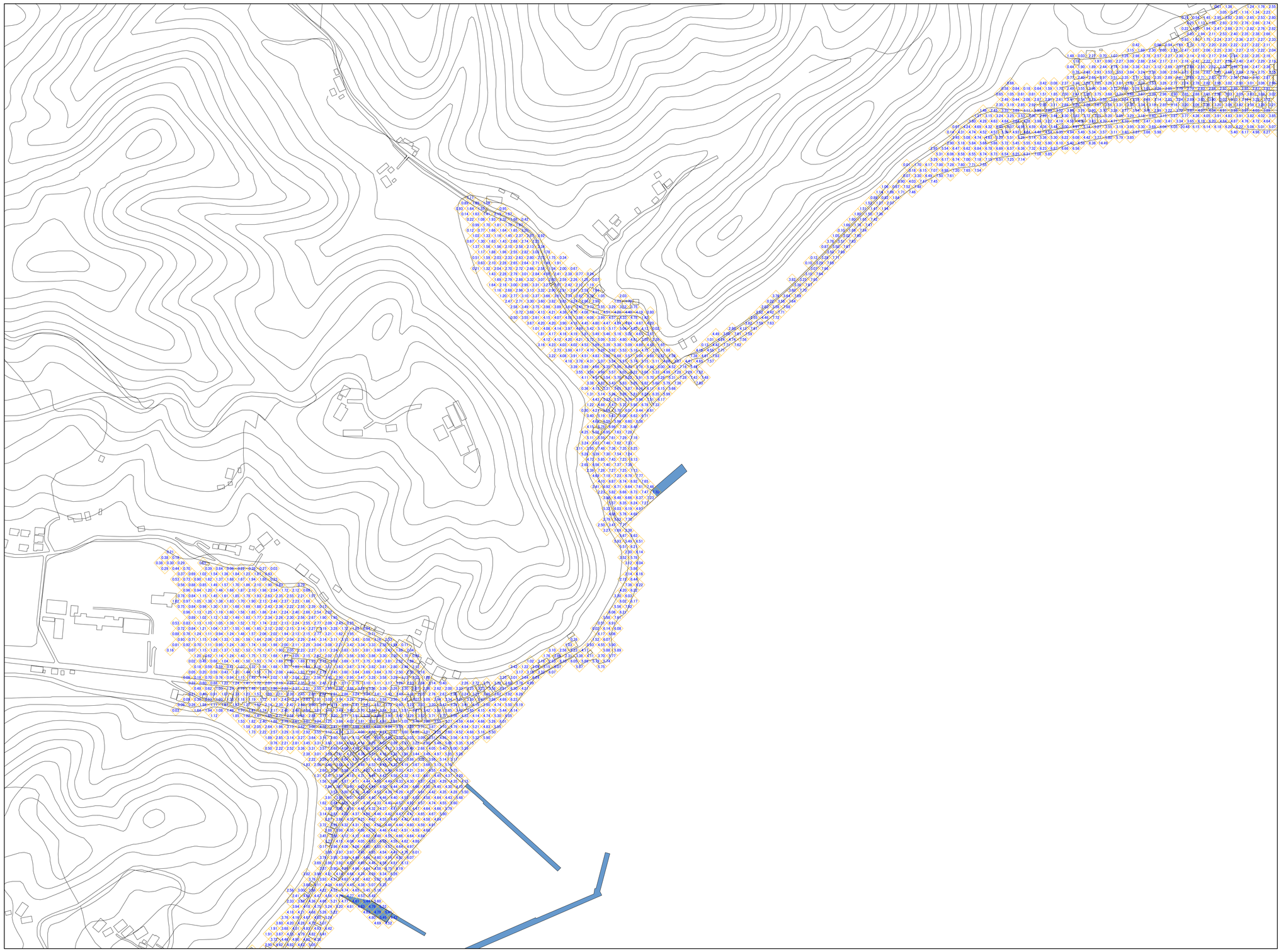
【地形（標高）データ】
〇基準水位の算出に用いた「地形（標高）データ」は、平成20年から平成26年に実施された航空レーザー測量等の結果を基に作成しているため、その後の開発に伴う盛土や個別施設の微細な土地の形状が現況と異なっている場合があります。
【背景地図】
〇「背景地図」は最新のものを使用していますが、道路や建物などが現況と異なっている場合があります。

0　50　100　200　300　400 m

N	津波災害警戒区域（基準水位）	水位（単位：メートル）
縮尺 1:2,500	市町村名	佐渡市
	図面番号	43

Copyright@NTT空間情報　All Rights Reserved

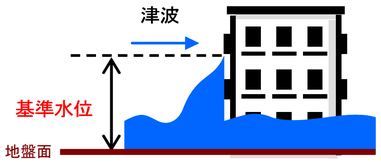
津波災害警戒区域の指定の公示に係る図書(津波災害警戒区域　区域図)　佐渡市-44



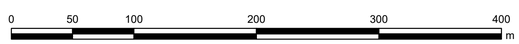
＜留意事項＞

【津波災害警戒区域】
〇「津波災害警戒区域」は、津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律第123号（以下、「法」という。））第53条第1項に基づく区域です。
〇「津波災害警戒区域」は、津波浸水想定（法第8条第1項）を踏まえ、津波による人的災害を防止するために警戒避難体制を特に整備すべき区域です。

【基準水位】
〇「基準水位」は、法第53条第2項に基づく水位で、津波の発生時における避難施設の避難上有効な高さ等の基準となるものです。
〇「基準水位」は、津波浸水想定に定める水深に係る水位に建築物への衝突による津波の水位の上昇を考慮して必要と認められる値を加えて定める水位であり、地盤面からの高さ（メートル単位）で表示しています。（下図参照）



【地形（標高）データ】
〇基準水位の算出に用いた「地形（標高）データ」は、平成20年から平成26年に実施された航空レーザー測量等の結果を基に作成しているため、その後の開発に伴う盛土や個別施設の微細な土地の形状が現況と異なっている場合があります。
【背景地図】
〇「背景地図」は最新のものを使用していますが、道路や建物などが現況と異なっている場合があります。



N	津波災害警戒区域（基準水位）	水位（単位：メートル）
縮尺 1:2,500	市町村名	佐渡市
	図面番号	44

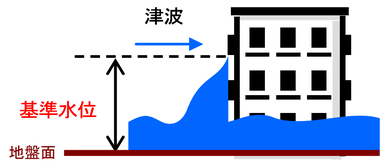
Copyright@NTT空間情報　All Rights Reserved

津波災害警戒区域の指定の公示に係る図書(津波災害警戒区域　区域図)　佐渡市-45

＜留意事項＞

【津波災害警戒区域】
〇「津波災害警戒区域」は、津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律第123号（以下、「法」という。））第53条第1項に基づく区域です。
〇「津波災害警戒区域」は、津波浸水想定（法第8条第1項）を踏まえ、津波による人的災害を防止するために警戒避難体制を特に整備すべき区域です。

【基準水位】
〇「基準水位」は、法第53条第2項に基づく水位で、津波の発生時における避難施設の避難上有効な高さ等の基準となるものです。
〇「基準水位」は、津波浸水想定に定める水深に係る水位に建築物への衝突による津波の水位の上昇を考慮して必要と認められる値を加えて定める水位であり、地盤面からの高さ（メートル単位）で表示しています。（下図参照）



【地形（標高）データ】
〇基準水位の算出に用いた「地形（標高）データ」は、平成20年から平成26年に実施された航空レーザー測量等の結果を基に作成しているため、その後の開発に伴う盛土や個別施設の微細な土地の形状が現況と異なっている場合があります。
【背景地図】
〇「背景地図」は最新のものを使用していますが、道路や建物などが現況と異なっている場合があります。

0　50　100　200　300　400 m

N	津波災害警戒区域（基準水位）	水位（単位:メートル）
縮尺 1:2,500	市町村名	佐渡市
	図面番号	45

Copyright@NTT空間情報　All Rights Reserved

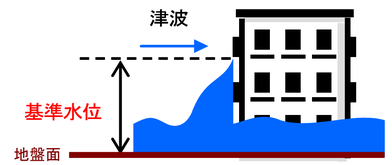
津波災害警戒区域の指定の公示に係る図書(津波災害警戒区域　区域図)　佐渡市-46

0　50　100　200　300　400 m

＜留意事項＞

【津波災害警戒区域】
〇「津波災害警戒区域」は、津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律第123号（以下、「法」という。））第53条第1項に基づく区域です。
〇「津波災害警戒区域」は、津波浸水想定（法第8条第1項）を踏まえ、津波による人的災害を防止するために警戒避難体制を特に整備すべき区域です。

【基準水位】
〇「基準水位」は、法第53条第2項に基づく水位で、津波の発生時における避難施設の避難上有効な高さ等の基準となるものです。
〇「基準水位」は、津波浸水想定に定める水深に係る水位に建築物への衝突による津波の水位の上昇を考慮して必要と認められる値を加えて定める水位であり、地盤面からの高さ（メートル単位）で表示しています。（下図参照）



【地形（標高）データ】
〇基準水位の算出に用いた「地形（標高）データ」は、平成20年から平成26年に実施された航空レーザー測量等の結果を基に作成しているため、その後の開発に伴う盛土や個別施設の微細な土地の形状が現況と異なっている場合があります。
【背景地図】
〇「背景地図」は最新のものを使用していますが、道路や建物などが現況と異なっている場合があります。

N	津波災害警戒区域（基準水位）	水位（単位:メートル）
縮尺 1:2,500	市町村名	佐渡市
	図面番号	46

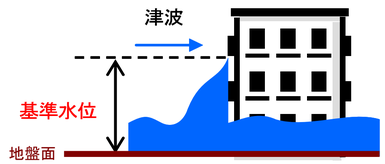
Copyright@NTT空間情報　All Rights Reserved

津波災害警戒区域の指定の公示に係る図書(津波災害警戒区域　区域図)　佐渡市-47

＜留意事項＞

【津波災害警戒区域】
〇「津波災害警戒区域」は、津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律第123号（以下、「法」という。））第53条第1項に基づく区域です。
〇「津波災害警戒区域」は、津波浸水想定（法第8条第1項）を踏まえ、津波による人的災害を防止するために警戒避難体制を特に整備すべき区域です。

【基準水位】
〇「基準水位」は、法第53条第2項に基づく水位で、津波の発生時における避難施設の避難上有効な高さ等の基準となるものです。
〇「基準水位」は、津波浸水想定に定める水深に係る水位に建築物への衝突による津波の水位の上昇を考慮して必要と認められる値を加えて定める水位であり、地盤面からの高さ（メートル単位）で表示しています。（下図参照）



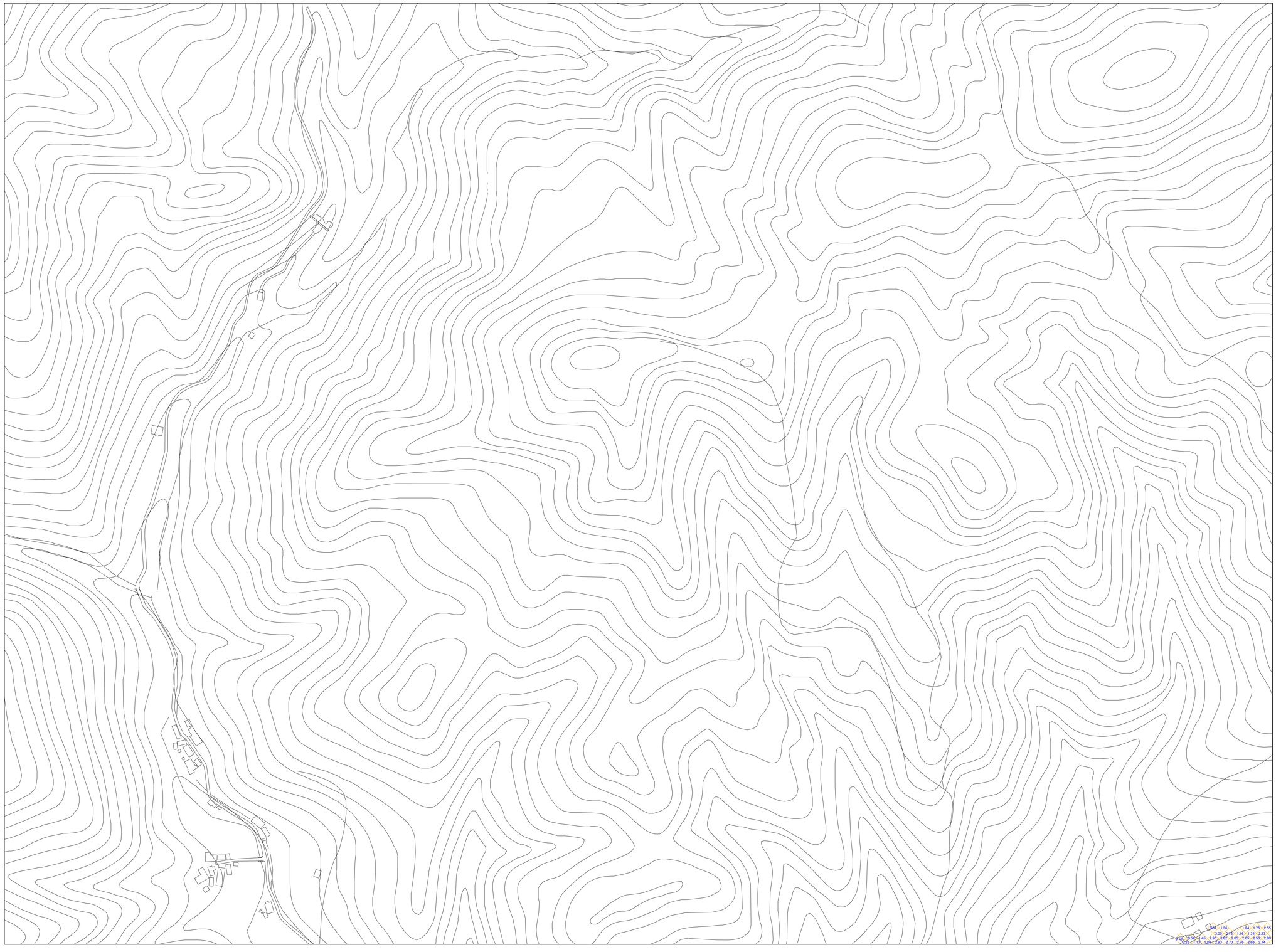
【地形（標高）データ】
〇基準水位の算出に用いた「地形（標高）データ」は、平成20年から平成26年に実施された航空レーザー測量等の結果を基に作成しているため、その後の開発に伴う盛土や個別施設の微細な土地の形状が現況と異なっている場合があります。
【背景地図】
〇「背景地図」は最新のものを使用していますが、道路や建物などが現況と異なっている場合があります。

0　50　100　200　300　400 m

N	津波災害警戒区域（基準水位）	水位（単位:メートル）
縮尺 1:2,500	市町村名	佐渡市
	図面番号	47

Copyright@NTT空間情報　All Rights Reserved

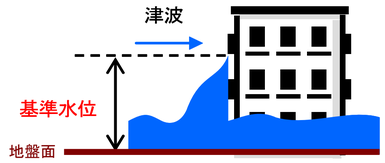
津波災害警戒区域の指定の公示に係る図書(津波災害警戒区域　区域図)　佐渡市-48



＜留意事項＞

【津波災害警戒区域】
〇「津波災害警戒区域」は、津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律第123号（以下、「法」という。））第53条第1項に基づく区域です。
〇「津波災害警戒区域」は、津波浸水想定（法第8条第1項）を踏まえ、津波による人的災害を防止するために警戒避難体制を特に整備すべき区域です。

【基準水位】
〇「基準水位」は、法第53条第2項に基づく水位で、津波の発生時における避難施設の避難上有効な高さ等の基準となるものです。
〇「基準水位」は、津波浸水想定に定める水深に係る水位に建築物への衝突による津波の水位の上昇を考慮して必要と認められる値を加えて定める水位であり、地盤面からの高さ（メートル単位）で表示しています。（下図参照）



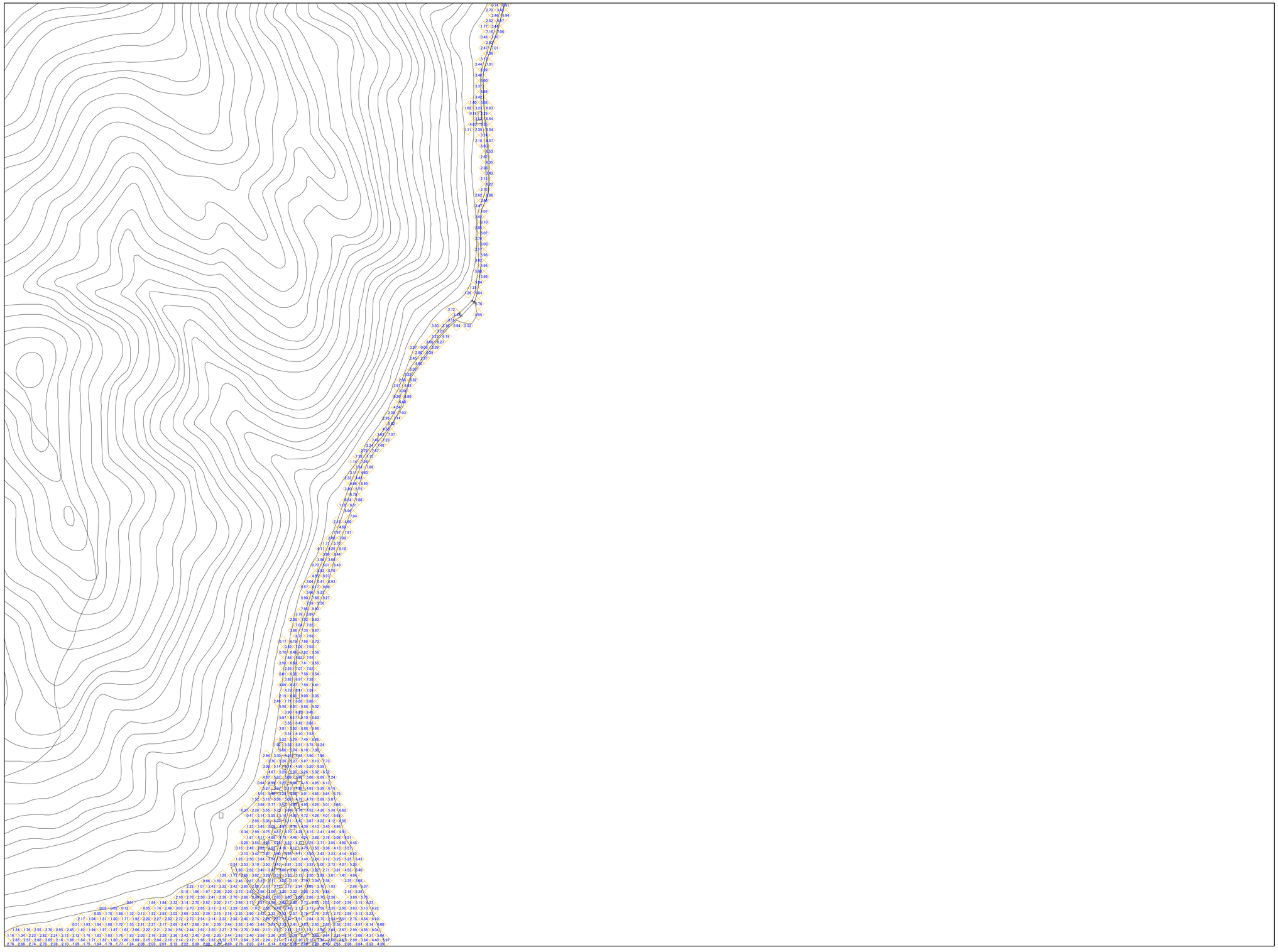
【地形（標高）データ】
〇基準水位の算出に用いた「地形（標高）データ」は、平成20年から平成26年に実施された航空レーザー測量等の結果を基に作成しているため、その後の開発に伴う盛土や個別施設の微細な土地の形状が現況と異なっている場合があります。
【背景地図】
〇「背景地図」は最新のものを使用していますが、道路や建物などが現況と異なっている場合があります。

0　50　100　200　300　400 m

N	津波災害警戒区域（基準水位）	水位（単位:メートル）
縮尺 1:2,500	市町村名	佐渡市
	図面番号	48

Copyright@NTT空間情報　All Rights Reserved

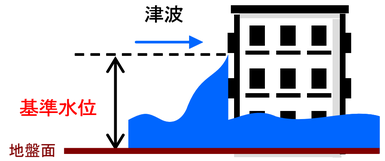
津波災害警戒区域の指定の公示に係る図書(津波災害警戒区域　区域図)　佐渡市-49



＜留意事項＞

【津波災害警戒区域】
〇「津波災害警戒区域」は、津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律第123号（以下、「法」という。））第53条第1項に基づく区域です。
〇「津波災害警戒区域」は、津波浸水想定（法第8条第1項）を踏まえ、津波による人的災害を防止するために警戒避難体制を特に整備すべき区域です。

【基準水位】
〇「基準水位」は、法第53条第2項に基づく水位で、津波の発生時における避難施設の避難上有効な高さ等の基準となるものです。
〇「基準水位」は、津波浸水想定に定める水深に係る水位に建築物への衝突による津波の水位の上昇を考慮して必要と認められる値を加えて定める水位であり、地盤面からの高さ（メートル単位）で表示しています。（下図参照）



【地形（標高）データ】
〇基準水位の算出に用いた「地形（標高）データ」は、平成20年から平成26年に実施された航空レーザー測量等の結果を基に作成しているため、その後の開発に伴う盛土や個別施設の微細な土地の形状が現況と異なっている場合があります。
【背景地図】
〇「背景地図」は最新のものを使用していますが、道路や建物などが現況と異なっている場合があります。

0　50　100　200　300　400 m

N	津波災害警戒区域（基準水位）	水位（単位:メートル）
縮尺 1:2,500	市町村名	佐渡市
	図面番号	49

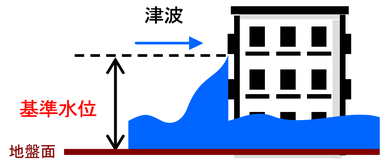
Copyright@NTT空間情報　All Rights Reserved

津波災害警戒区域の指定の公示に係る図書(津波災害警戒区域　区域図)　佐渡市-50

＜留意事項＞

【津波災害警戒区域】
〇「津波災害警戒区域」は、津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律第123号（以下、「法」という。））第53条第1項に基づく区域です。
〇「津波災害警戒区域」は、津波浸水想定（法第8条第1項）を踏まえ、津波による人的災害を防止するために警戒避難体制を特に整備すべき区域です。

【基準水位】
〇「基準水位」は、法第53条第2項に基づく水位で、津波の発生時における避難施設の避難上有効な高さ等の基準となるものです。
〇「基準水位」は、津波浸水想定に定める水深に係る水位に建築物への衝突による津波の水位の上昇を考慮して必要と認められる値を加えて定める水位であり、地盤面からの高さ（メートル単位）で表示しています。（下図参照）



【地形（標高）データ】
〇基準水位の算出に用いた「地形（標高）データ」は、平成20年から平成26年に実施された航空レーザー測量等の結果を基に作成しているため、その後の開発に伴う盛土や個別施設の微細な土地の形状が現況と異なっている場合があります。
【背景地図】
〇「背景地図」は最新のものを使用していますが、道路や建物などが現況と異なっている場合があります。

0　50　100　200　300　400 m

N	津波災害警戒区域（基準水位）	水位（単位:メートル）
縮尺 1:2,500	市町村名	佐渡市
	図面番号	50

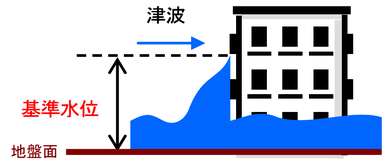
Copyright@NTT空間情報　All Rights Reserved

津波災害警戒区域の指定の公示に係る図書(津波災害警戒区域　区域図)　佐渡市-51

＜留意事項＞

【津波災害警戒区域】
〇「津波災害警戒区域」は、津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律第123号（以下、「法」という。））第53条第1項に基づく区域です。
〇「津波災害警戒区域」は、津波浸水想定（法第8条第1項）を踏まえ、津波による人的災害を防止するために警戒避難体制を特に整備すべき区域です。

【基準水位】
〇「基準水位」は、法第53条第2項に基づく水位で、津波の発生時における避難施設の避難上有効な高さ等の基準となるものです。
〇「基準水位」は、津波浸水想定に定める水深に係る水位に建築物への衝突による津波の水位の上昇を考慮して必要と認められる値を加えて定める水位であり、地盤面からの高さ（メートル単位）で表示しています。（下図参照）



【地形（標高）データ】
〇基準水位の算出に用いた「地形（標高）データ」は、平成20年から平成26年に実施された航空レーザー測量等の結果を基に作成しているため、その後の開発に伴う盛土や個別施設の微細な土地の形状が現況と異なっている場合があります。
【背景地図】
〇「背景地図」は最新のものを使用していますが、道路や建物などが現況と異なっている場合があります。

0　50　100　200　300　400 m

N	津波災害警戒区域（基準水位）	水位（単位:メートル）
縮尺 1:2,500	市町村名	佐渡市
	図面番号	51

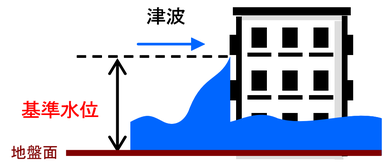
Copyright@NTT空間情報　All Rights Reserved

津波災害警戒区域の指定の公示に係る図書(津波災害警戒区域　区域図)　佐渡市-52

＜留意事項＞

【津波災害警戒区域】
〇「津波災害警戒区域」は、津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律第123号（以下、「法」という。））第53条第1項に基づく区域です。
〇「津波災害警戒区域」は、津波浸水想定（法第8条第1項）を踏まえ、津波による人的災害を防止するために警戒避難体制を特に整備すべき区域です。

【基準水位】
〇「基準水位」は、法第53条第2項に基づく水位で、津波の発生時における避難施設の避難上有効な高さ等の基準となるものです。
〇「基準水位」は、津波浸水想定に定める水深に係る水位に建築物への衝突による津波の水位の上昇を考慮して必要と認められる値を加えて定める水位であり、地盤面からの高さ（メートル単位）で表示しています。（下図参照）



【地形（標高）データ】
〇基準水位の算出に用いた「地形（標高）データ」は、平成20年から平成26年に実施された航空レーザー測量等の結果を基に作成しているため、その後の開発に伴う盛土や個別施設の微細な土地の形状が現況と異なっている場合があります。
【背景地図】
〇「背景地図」は最新のものを使用していますが、道路や建物などが現況と異なっている場合があります。

0　50　100　200　300　400 m

N	津波災害警戒区域（基準水位）	水位（単位メートル）
縮尺 1:2,500	市町村名	佐渡市
	図面番号	52

Copyright@NTT空間情報　All Rights Reserved

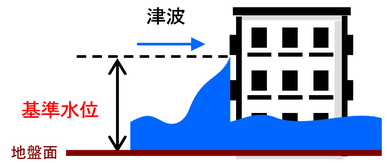
津波災害警戒区域の指定の公示に係る図書(津波災害警戒区域　区域図)　佐渡市-53

0　50　100　200　300　400 m

＜留意事項＞

【津波災害警戒区域】
〇「津波災害警戒区域」は、津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律第123号（以下、「法」という。））第53条第1項に基づく区域です。
〇「津波災害警戒区域」は、津波浸水想定（法第8条第1項）を踏まえ、津波による人的災害を防止するために警戒避難体制を特に整備すべき区域です。

【基準水位】
〇「基準水位」は、法第53条第2項に基づく水位で、津波の発生時における避難施設の避難上有効な高さ等の基準となるものです。
〇「基準水位」は、津波浸水想定に定める水深に係る水位に建築物への衝突による津波の水位の上昇を考慮して必要と認められる値を加えて定める水位であり、地盤面からの高さ（メートル単位）で表示しています。（下図参照）

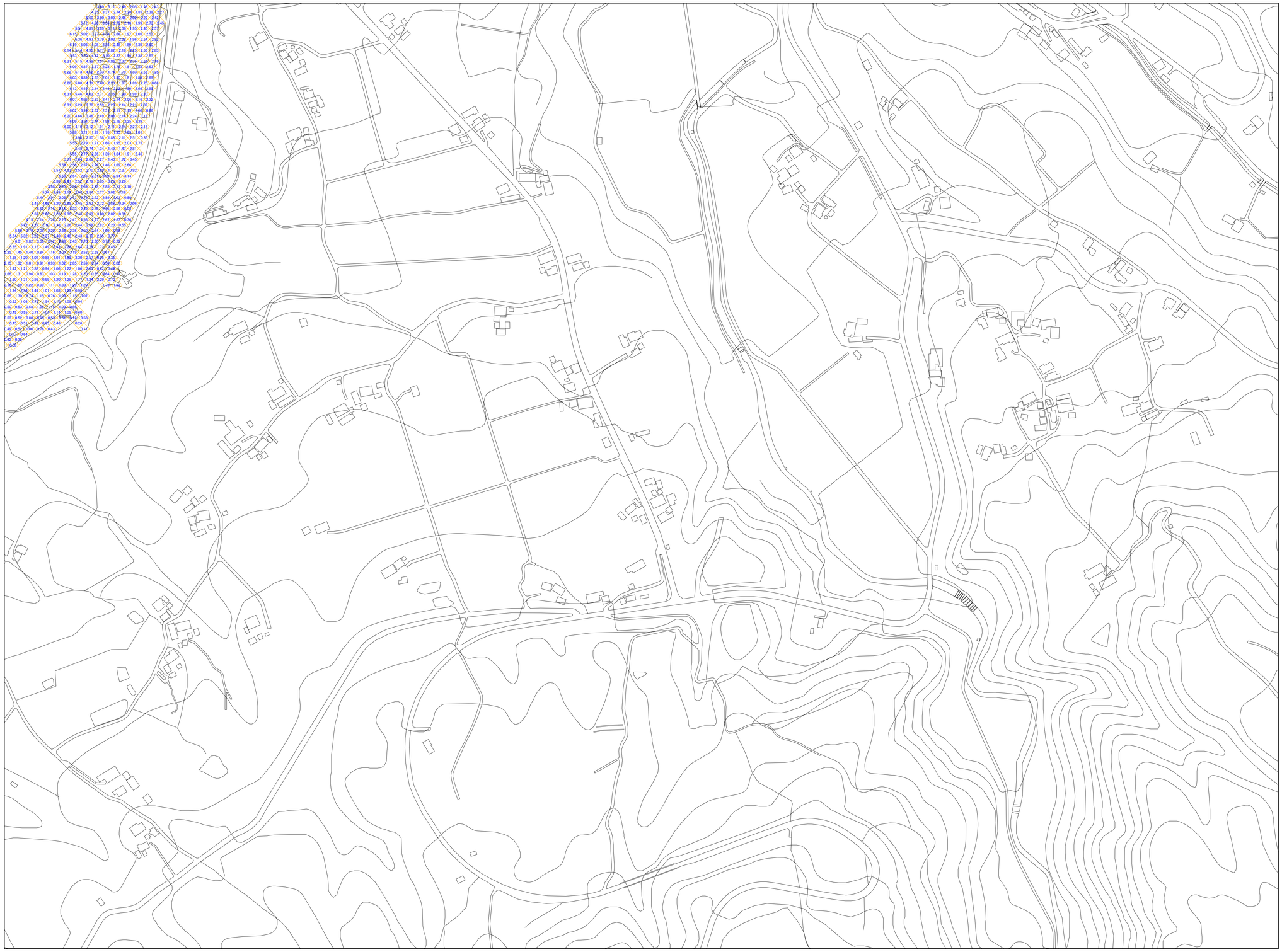


【地形（標高）データ】
〇基準水位の算出に用いた「地形（標高）データ」は、平成20年から平成26年に実施された航空レーザー測量等の結果を基に作成しているため、その後の開発に伴う盛土や個別施設の微細な土地の形状が現況と異なっている場合があります。
【背景地図】
〇「背景地図」は最新のものを使用していますが、道路や建物などが現況と異なっている場合があります。

N	津波災害警戒区域（基準水位）	水位（単位メートル）
縮尺 1:2,500	市町村名	佐渡市
	図面番号	53

Copyright@NTT空間情報　All Rights Reserved

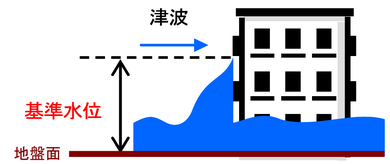
津波災害警戒区域の指定の公示に係る図書(津波災害警戒区域　区域図)　佐渡市-54



＜留意事項＞

【津波災害警戒区域】
〇「津波災害警戒区域」は、津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律第123号（以下、「法」という。））第53条第1項に基づく区域です。
〇「津波災害警戒区域」は、津波浸水想定（法第8条第1項）を踏まえ、津波による人的災害を防止するために警戒避難体制を特に整備すべき区域です。

【基準水位】
〇「基準水位」は、法第53条第2項に基づく水位で、津波の発生時における避難施設の避難上有効な高さ等の基準となるものです。
〇「基準水位」は、津波浸水想定に定める水深に係る水位に建築物への衝突による津波の水位の上昇を考慮して必要と認められる値を加えて定める水位であり、地盤面からの高さ（メートル単位）で表示しています。（下図参照）

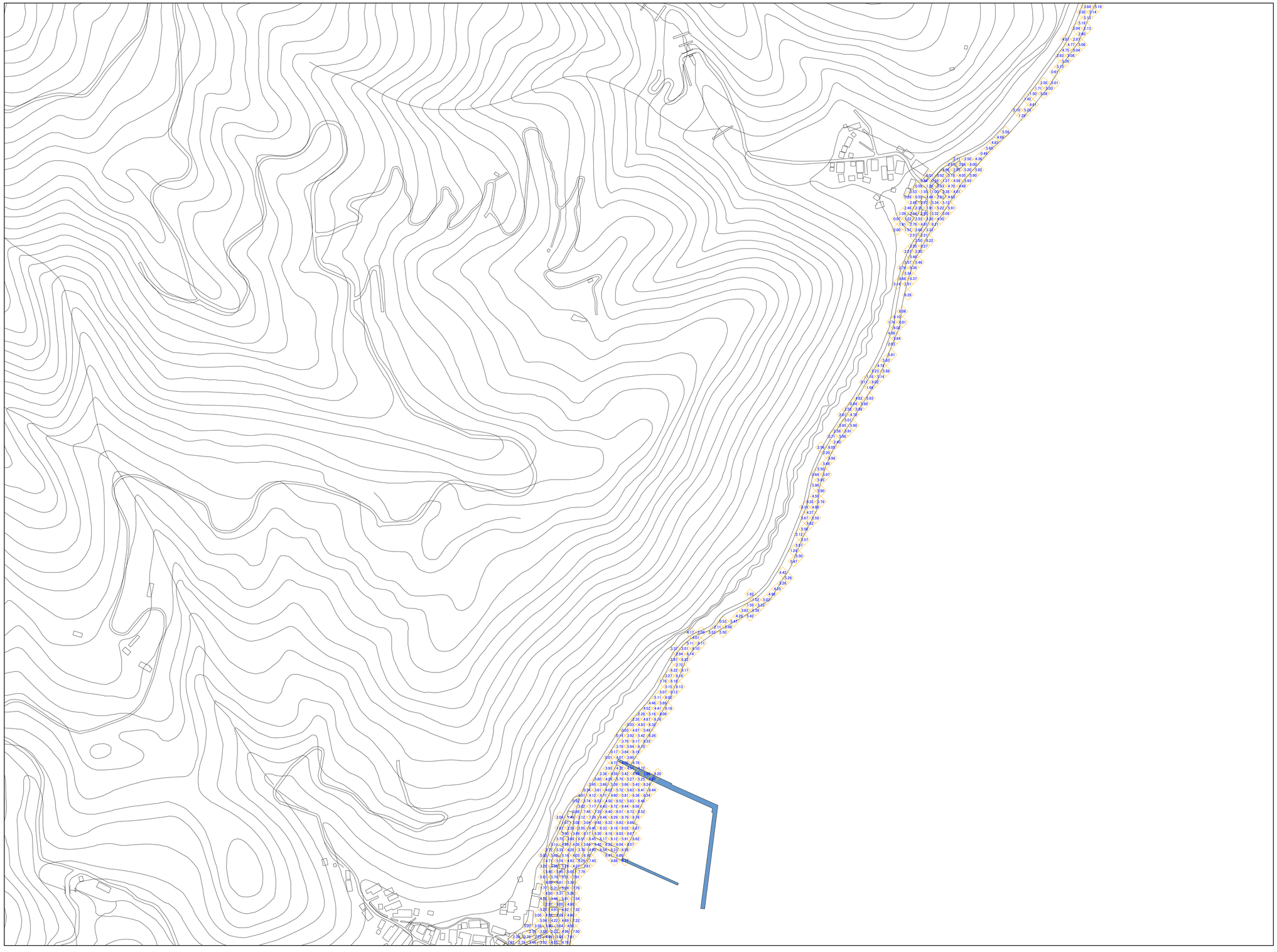


【地形（標高）データ】
〇基準水位の算出に用いた「地形（標高）データ」は、平成20年から平成26年に実施された航空レーザー測量等の結果を基に作成しているため、その後の開発に伴う盛土や個別施設の微細な土地の形状が現況と異なっている場合があります。
【背景地図】
〇「背景地図」は最新のものを使用していますが、道路や建物などが現況と異なっている場合があります。

N	津波災害警戒区域（基準水位）	水位（単位メートル）
縮尺 1:2,500	市町村名	佐渡市
	図面番号	54

Copyright@NTT空間情報　All Rights Reserved

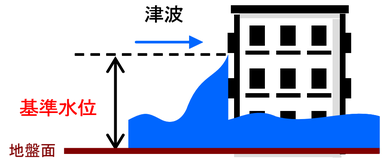
津波災害警戒区域の指定の公示に係る図書(津波災害警戒区域　区域図)　佐渡市-55



＜留意事項＞

【津波災害警戒区域】
〇「津波災害警戒区域」は、津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律第123号（以下、「法」という。））第53条第1項に基づく区域です。
〇「津波災害警戒区域」は、津波浸水想定（法第8条第1項）を踏まえ、津波による人的災害を防止するために警戒避難体制を特に整備すべき区域です。

【基準水位】
〇「基準水位」は、法第53条第2項に基づく水位で、津波の発生時における避難施設の避難上有効な高さ等の基準となるものです。
〇「基準水位」は、津波浸水想定に定める水深に係る水位に建築物への衝突による津波の水位の上昇を考慮して必要と認められる値を加えて定める水位であり、地盤面からの高さ（メートル単位）で表示しています。（下図参照）



【地形（標高）データ】
〇基準水位の算出に用いた「地形（標高）データ」は、平成20年から平成26年に実施された航空レーザー測量等の結果を基に作成しているため、その後の開発に伴う盛土や個別施設の微細な土地の形状が現況と異なっている場合があります。
【背景地図】
〇「背景地図」は最新のものを使用していますが、道路や建物などが現況と異なっている場合があります。

0　50　100　200　300　400 m

N	津波災害警戒区域 （基準水位）	水位 （単位メートル）
縮尺 1:2,500	市町村名	佐渡市
	図面番号	55

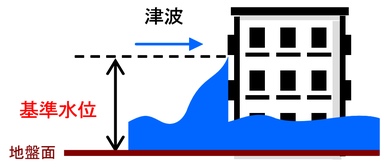
Copyright@NTT空間情報　All Rights Reserved

津波災害警戒区域の指定の公示に係る図書(津波災害警戒区域　区域図)　佐渡市-56

＜留意事項＞

【津波災害警戒区域】
〇「津波災害警戒区域」は、津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律第123号（以下、「法」という。））第53条第1項に基づく区域です。
〇「津波災害警戒区域」は、津波浸水想定（法第8条第1項）を踏まえ、津波による人的災害を防止するために警戒避難体制を特に整備すべき区域です。

【基準水位】
〇「基準水位」は、法第53条第2項に基づく水位で、津波の発生時における避難施設の避難上有効な高さ等の基準となるものです。
〇「基準水位」は、津波浸水想定に定める水深に係る水位に建築物への衝突による津波の水位の上昇を考慮して必要と認められる値を加えて定める水位であり、地盤面からの高さ（メートル単位）で表示しています。（下図参照）



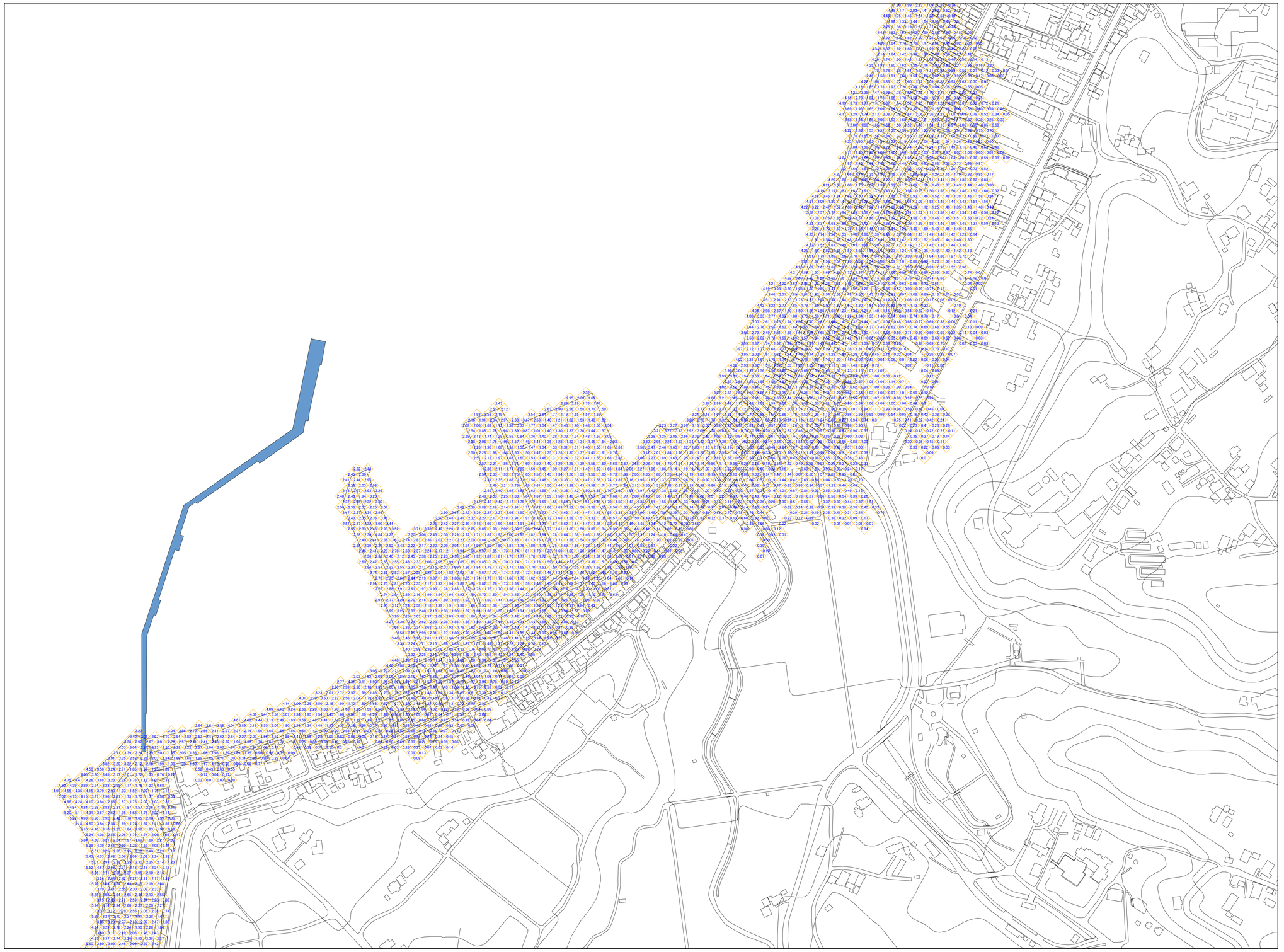
【地形（標高）データ】
〇基準水位の算出に用いた「地形（標高）データ」は、平成20年から平成26年に実施された航空レーザー測量等の結果を基に作成しているため、その後の開発に伴う盛土や個別施設の微細な土地の形状が現況と異なっている場合があります。
【背景地図】
〇「背景地図」は最新のものを使用していますが、道路や建物などが現況と異なっている場合があります。

0　50　100　200　300　400 m

N	津波災害警戒区域（基準水位）	水位（単位:メートル）
縮尺 1:2,500	市町村名	佐渡市
	図面番号	56

Copyright@NTT空間情報　All Rights Reserved

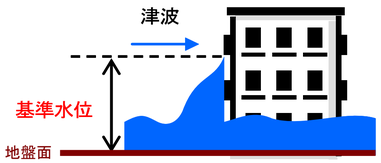
津波災害警戒区域の指定の公示に係る図書(津波災害警戒区域　区域図)　佐渡市-57



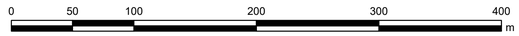
＜留意事項＞

【津波災害警戒区域】
〇「津波災害警戒区域」は、津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律第123号（以下、「法」という。））第53条第1項に基づく区域です。
〇「津波災害警戒区域」は、津波浸水想定（法第8条第1項）を踏まえ、津波による人的災害を防止するために警戒避難体制を特に整備すべき区域です。

【基準水位】
〇「基準水位」は、法第53条第2項に基づく水位で、津波の発生時における避難施設の避難上有効な高さ等の基準となるものです。
〇「基準水位」は、津波浸水想定に定める水深に係る水位に建築物への衝突による津波の水位の上昇を考慮して必要と認められる値を加えて定める水位であり、地盤面からの高さ（メートル単位）で表示しています。（下図参照）



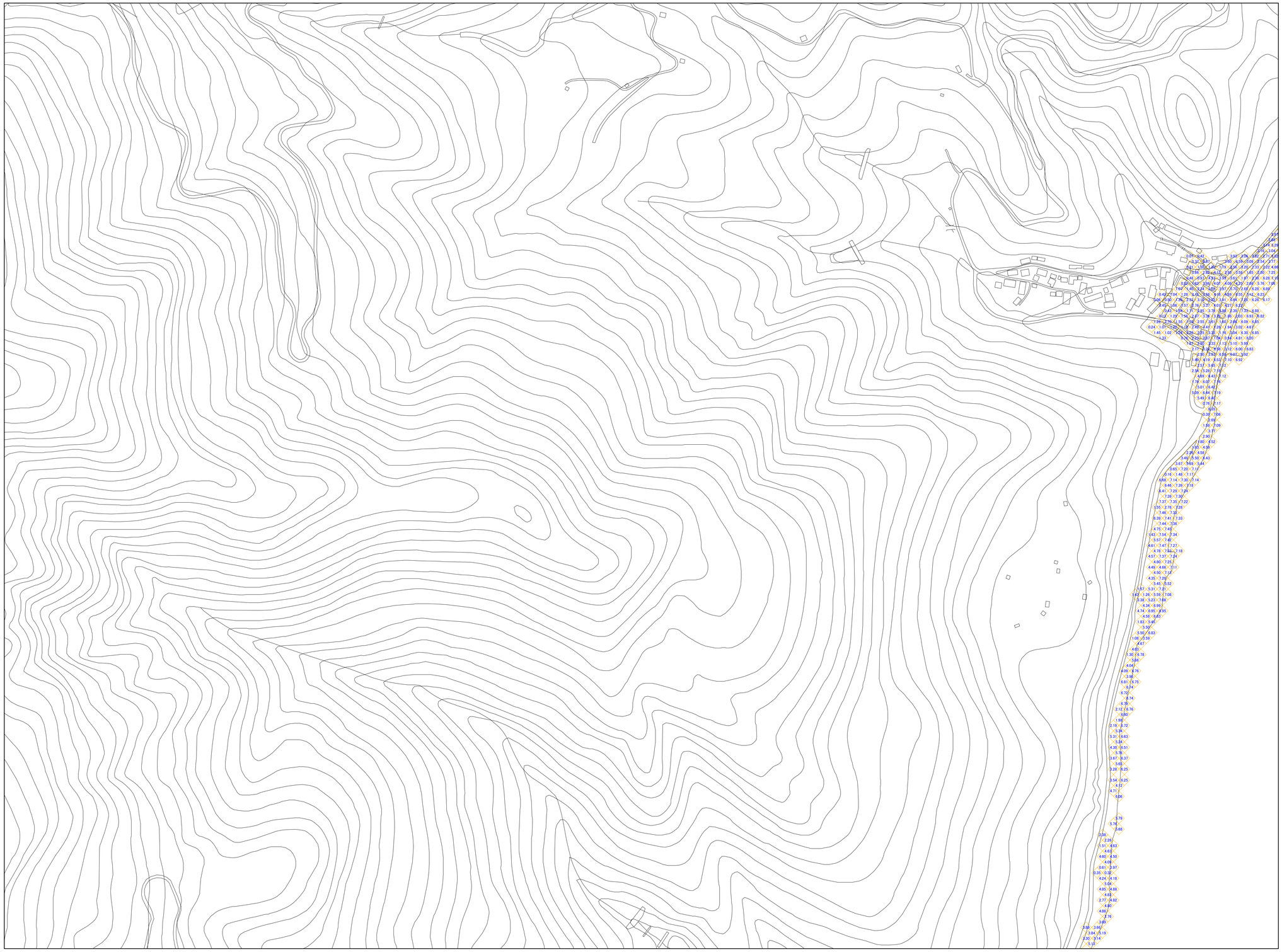
【地形（標高）データ】
〇基準水位の算出に用いた「地形（標高）データ」は、平成20年から平成26年に実施された航空レーザー測量等の結果を基に作成しているため、その後の開発に伴う盛土や個別施設の微細な土地の形状が現況と異なっている場合があります。
【背景地図】
〇「背景地図」は最新のものを使用していますが、道路や建物などが現況と異なっている場合があります。



N	津波災害警戒区域（基準水位）	水位（単位:メートル）
縮尺 1:2,500	市町村名	佐渡市
	図面番号	57

Copyright@NTT空間情報　All Rights Reserved

津波災害警戒区域の指定の公示に係る図書(津波災害警戒区域　区域図)　佐渡市-58

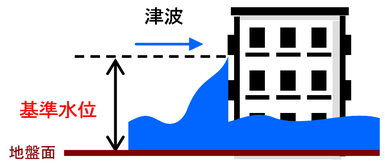


0　50　100　200　300　400 m

＜留意事項＞

【津波災害警戒区域】
〇「津波災害警戒区域」は、津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律第123号（以下、「法」という。））第53条第1項に基づく区域です。
〇「津波災害警戒区域」は、津波浸水想定（法第8条第1項）を踏まえ、津波による人的災害を防止するために警戒避難体制を特に整備すべき区域です。

【基準水位】
〇「基準水位」は、法第53条第2項に基づく水位で、津波の発生時における避難施設の避難上有効な高さ等の基準となるものです。
〇「基準水位」は、津波浸水想定に定める水深に係る水位に建築物への衝突による津波の水位の上昇を考慮して必要と認められる値を加えて定める水位であり、地盤面からの高さ（メートル単位）で表示しています。（下図参照）

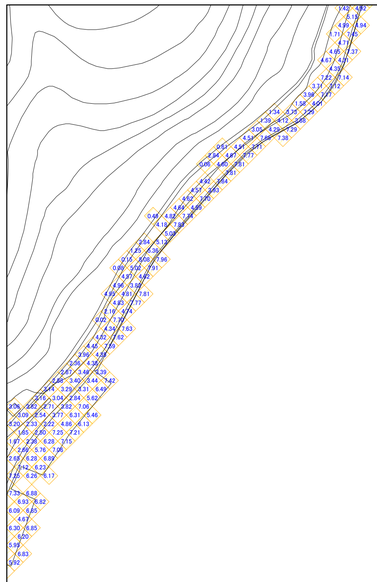


【地形（標高）データ】
〇基準水位の算出に用いた「地形（標高）データ」は、平成20年から平成26年に実施された航空レーザー測量等の結果を基に作成しているため、その後の開発に伴う盛土や個別施設の微細な土地の形状が現況と異なっている場合があります。
【背景地図】
〇「背景地図」は最新のものを使用していますが、道路や建物などが現況と異なっている場合があります。

N	津波災害警戒区域（基準水位）	水位（単位メートル）
縮尺 1:2,500	市町村名	佐渡市
	図面番号	58

Copyright@NTT空間情報　All Rights Reserved

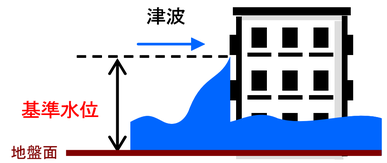
津波災害警戒区域の指定の公示に係る図書(津波災害警戒区域　区域図)　佐渡市-59



＜留意事項＞

【津波災害警戒区域】
〇「津波災害警戒区域」は、津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律第123号（以下、「法」という。））第53条第1項に基づく区域です。
〇「津波災害警戒区域」は、津波浸水想定（法第8条第1項）を踏まえ、津波による人的災害を防止するために警戒避難体制を特に整備すべき区域です。

【基準水位】
〇「基準水位」は、法第53条第2項に基づく水位で、津波の発生時における避難施設の避難上有効な高さ等の基準となるものです。
〇「基準水位」は、津波浸水想定に定める水深に係る水位に建築物への衝突による津波の水位の上昇を考慮して必要と認められる値を加えて定める水位であり、地盤面からの高さ（メートル単位）で表示しています。（下図参照）

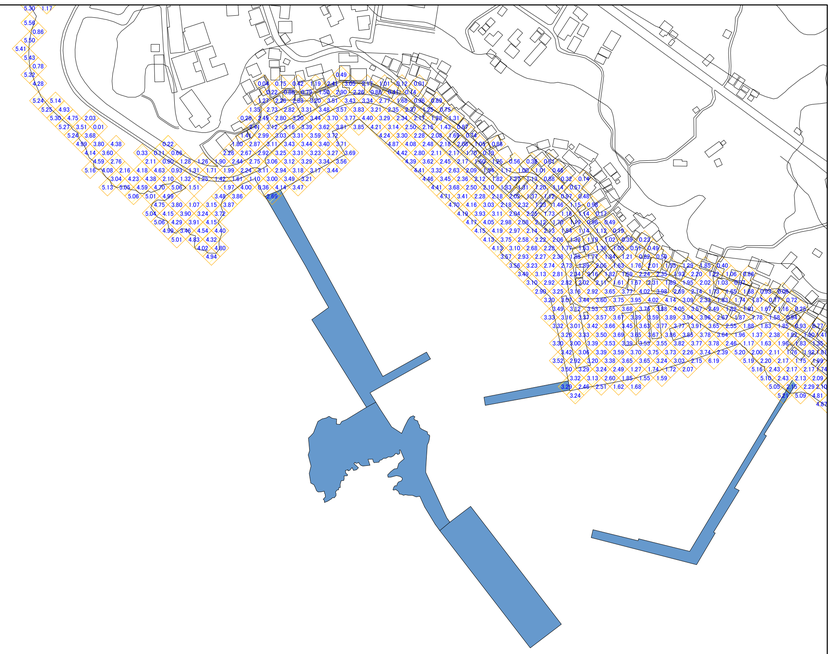


【地形（標高）データ】
〇基準水位の算出に用いた「地形（標高）データ」は、平成20年から平成26年に実施された航空レーザー測量等の結果を基に作成しているため、その後の開発に伴う盛土や個別施設の微細な土地の形状が現況と異なっている場合があります。
【背景地図】
〇「背景地図」は最新のものを使用していますが、道路や建物などが現況と異なっている場合があります。

N	津波災害警戒区域（基準水位）	水位（単位:メートル）
縮尺 1:2,500	市町村名	佐渡市
	図面番号	59

Copyright@NTT空間情報　All Rights Reserved

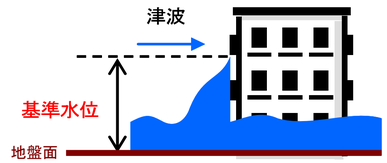
津波災害警戒区域の指定の公示に係る図書(津波災害警戒区域　区域図)　佐渡市-60



＜留意事項＞

【津波災害警戒区域】
〇「津波災害警戒区域」は、津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律第123号（以下、「法」という。））第53条第1項に基づく区域です。
〇「津波災害警戒区域」は、津波浸水想定（法第8条第1項）を踏まえ、津波による人的災害を防止するために警戒避難体制を特に整備すべき区域です。

【基準水位】
〇「基準水位」は、法第53条第2項に基づく水位で、津波の発生時における避難施設の避難上有効な高さ等の基準となるものです。
〇「基準水位」は、津波浸水想定に定める水深に係る水位に建築物への衝突による津波の水位の上昇を考慮して必要と認められる値を加えて定める水位であり、地盤面からの高さ（メートル単位）で表示しています。（下図参照）



【地形（標高）データ】
〇基準水位の算出に用いた「地形（標高）データ」は、平成20年から平成26年に実施された航空レーザー測量等の結果を基に作成しているため、その後の開発に伴う盛土や個別施設の微細な土地の形状が現況と異なっている場合があります。
【背景地図】
〇「背景地図」は最新のものを使用していますが、道路や建物などが現況と異なっている場合があります。

0　50　100　200　300　400 m

N	津波災害警戒区域（基準水位）	水位（単位:メートル）
縮尺 1:2,500	市町村名	佐渡市
	図面番号	60

Copyright@NTT空間情報　All Rights Reserved